



# やまだ 議会だより

No. 155

2017. 5. 1発行  
岩手県山田町議会

家族の笑顔  
(関連記事20頁)



## 平成29年3月 第1回定例会

- 3月定例会のあらまし — 2P
- 予算特別委員会 — 5P
- 町の考えは(一般質問) — 8P
- 議会活動報告 — 19P



平成29年3月定例会は2月13日から3月10日まで26日間にわたって開かれ、初日には29年度の町長施政方針が述べられました。  
町長提案の議案40件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜4頁)

29年度予算8件は、予算特別委員会を設置して3日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり認定しました。(5〜7頁)  
一般質問では11人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(8〜18頁)

# 地公園新設工事 賛成多数で可決



防災緑地公園建設予定地

## 田の浜地区津波防災緑地公園新設工事の請負契約締結の議案は、28年3月定例会において、議員の反対多数により否決となりました。

その後、町では計画変更をし、このたび議員の賛成多数(賛成11、反対1)で可決されました。概要は次のとおりです。

### ■事業の概要

田の浜地区の既存居住区域を東日本大震災クラス津波被害から守るための緩衝地帯として防災緑地を整備する。

### ▽工期

29年3月13日

〜30年4月13日

### ▽契約請負額

2億6136万円

### ▽受注者

奥井建設株式会社

### 【質疑応答】

**問** 1回目の提案から1年が経ったが、それほど内容が変わっていないと

## 討論

### 反対 木村洋子議員

緑地公園の計画自体に反対するものではないが、真ん中を通る階段については賛成できない。道路にすべきである。避難路として不十分。住民、漁民の命は守れない。生活道としても不便である。被災者の願いが届いていないような計画なので反対。

### 賛成 関 清貴議員

なぜ田の浜地区だけが取り残されるのか。住民説明会等においても町は十分な説明をし理解を得て進めようとしている。この工事が実施されなければ田の浜地区の住民は復興から取り残されることになる。早期の復興完遂を願い賛成。

**問** この計画では住民や漁民の方々の命を守れないと思う。前須賀・タブの木柱線を充実させてほしいという住民の声も届いたが改善されなかったのか。  
**建設課長** この計画で住民説明会を行っている。住民の理解は得られていると考えている。

# 緑災地区の田

## 小谷鳥漁港災害復旧工事の 請負契約を締結

**平** 成28年8月30日に上陸した台風10号により被災した南防波堤60・5メートルにおいて、消波ブロックが飛散したことから、その消波ブロックの製作と据え付けを行い、防波堤の機能復旧を図ります。

■工事の概要  
▽工期  
29年3月13日

▽契約請負金額  
5994万円

▽受注者  
大坂建設株式会社  
(宮古市)



消波ブロックと船揚げ場の一部が被災した

## 山田町新斎場 建設工事及び火葬炉設備設置工事開始

**現** 在、柳沢地区において敷地造成を施工している新斎場の建物と火葬炉設備設置の工事請負契約が締結されました。

【質疑応答】  
**問** 新斎場の建物建設工事と火葬炉設備設置工事の契約を分けた理由は。

が割高となることから分けて発注した。  
**問** 2つの工事の工期が重なっている中で、業者間の調整がスムーズにいくのか。

■工事の概要

【斎場建設工事】  
▽工期  
29年3月13日

中屋町民課長 火葬炉設備設置工事は業務の特殊性から判断し、プロポーザル方式により業者を選定した。建物工事との一括発注とすると工事金額

▽契約請負額  
4億7952万円

▽受注者  
株式会社佐々木組  
(二関市)

佐々木建築住宅課長 業者間の工程会議等を密にさせ、工事が遅れないように進める。



造成中の新斎場建設予定地

【火葬炉設備設置工事】  
▽工期  
29年3月13日  
▽契約請負額  
7117万2千円

▽受注者  
株式会社宮本工業所  
(富山県富山市)

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

定例会や臨時会などの議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ころから、議会ホームページ、ふれあいセンターで閲覧可能となる予定です。



# 町税条例改正 国民健康保険税の税率が変わりました

**国**の法律等の一部改正  
および政令等の一部  
改正に対処するためなら  
びに国民健康保険の財政  
基盤の安定化を目的とし  
て国民健康保険税の税率  
等が改正されました。

(賛成10、反対2)  
(主な改正内容(一部))  
■基礎課税額  
▽所得割額の率

改正前 6・4%

改正後 7・1%

▽被保険者平均割額

改正前 19800円

改正後 21700円

▽世帯別平等割額

改正前 18000円

改正後 20600円

【質疑応答】

**問** 国保税の税率を上げることによって生活困窮者や滞納者が増えるのではないか。町の実態と見

解および対策は。

低所得者対策について、広域化した場合どのようになるのか。

**昆会計管理者兼税務課長**  
税率が上がって負担が多くなれば徴収率に影響が出る可能性はあると考えるが、震災後の国保税の収納率の推移は、現年度分では毎年増傾向にある。この傾向を継続できるような努力したい。収納

対策については、滞納者に現年度課税額分を納期限内に納めることを基本に指導している。滞納分についても計画的に納めてもらい、滞納繰越額を増やさないように指導している。

**甲斐谷国保介護課長** 低所得者対策については、従来から国の負担による軽減があり、これは残るものと思っている。広域化については、検討している段階である。今後、協議がなされていくと思うが、現在の制度をそのまま移行し、その後変わっていくと思う。

## 討論

反対

木村洋子議員

住民の皆さんを守ってほしい

現在でも高すぎる国保税。年金は下がり、社会保障が切り捨てられている現状にも関わらず国保税を上げるとは、当町において死活問題であり、経済も落ち込む。納税者を追い詰めるような施策であり、命の危険さを感じ反対である。被災者の医療費の一部負担金免除の継続、そして今まで増税せずに頑張ってきた努力には本当に感謝しているが、さらに頑張る住民の皆さんを守ってほしい。

## 定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

### ■山田第3団地用地を取得

山田地区防災集団移転促進事業(山田第3団地)用地として、土地を買い入れます。

取得面積 7069平方メートル

取得金額 6681万円

### ■被災商工業者等へ仮施設を貸し付け

被災した商工業者等に対し、引き続き仮施設を貸し付けることを決定しました。

貸付期間 29年4月1日～30年3月31日

### ■町営住宅に関する条例の一部を改正

大沢小西団地、下条団地および大浦第2団地の各災害公営住宅の完成ならびに長林第3団地、田の浜第2団地の各災害公営住宅の一部完成に伴い、関係条項を改めました。

### ■28年度一般会計補正予算を可決

収入見込額、執行予定額を基に予算の調整を行うための補正予算(第7号)が提案され、39億5386万円減額し、補正後の金額を438億1377万円としました。

第1回臨時会  
(1月26日)

議案7件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

(主な議案)

■山田線陸中山田駅付近長崎街道踏切道外2箇所改修業務委託協定を締結

▽協定の期間

29年2月1日

～31年3月15日

▽協定金額

1億2831万円

▽協定の相手方

東日本旅客鉄道株式会社 東北工事事務所 (宮城県仙台市)

■28年度一般会計補正予算(第6号)

▽補正額

21億5992万円

▽補正後金額

477億6764万円

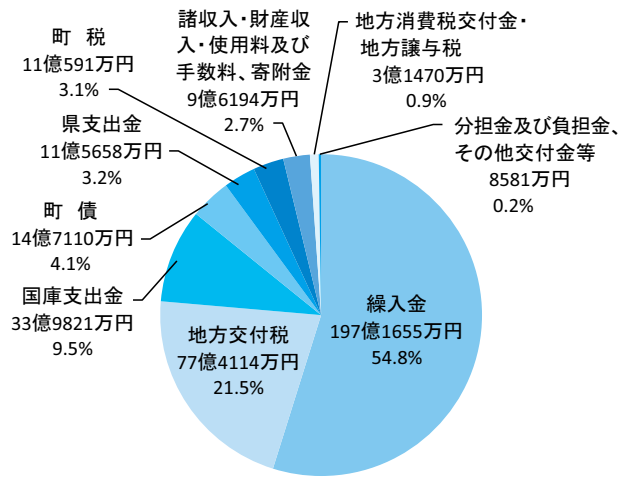
復興計画 再生期から発展期に向けて

# 一步一步着実に 事業を推進

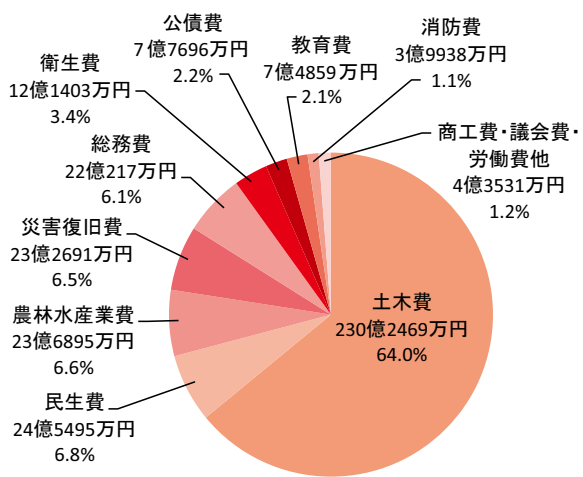
平成29年度予算について、予算特別委員会を設置して3月8日から10日まで審議し、全8会計を全て全員賛成で原案のとおり可決しました。  
29年度予算と委員会での審議の概要をお伝えします。

## 29年度一般会計予算 359億5197万円

### 入ってくるお金（歳入）



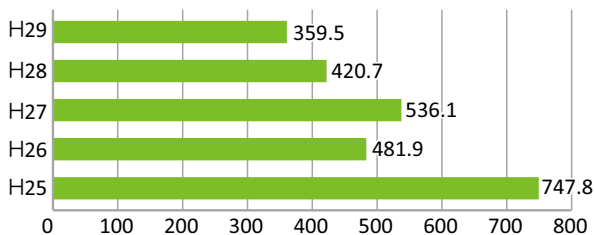
### 使うお金（歳出）



※グラフ中の数字は、端数処理の関係から合計と一致しない場合があります。

### ◆ 一般会計当初予算額の推移

(単位：億円)



※これは当初予算額の比較であり、最終的な予算額ではありません。

### ◆ 財政用語の説明 (円グラフと対応しています)

- ※1 繰入金…積立金などから取り崩したお金など
- ※2 地方交付税…町の財政力により国から交付されるお金
- ※3 国庫支出金、県支出金  
…町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- ※4 土木費…道路の整備や区画整理事業などに使われる経費
- ※5 民生費…福祉の向上などのために使われる経費
- ※6 農林水産業費…農林水産業の振興に使われる経費
- ※7 総務費…一般事務や、復興事業などに使われる経費
- ※8 公債費…事業を行うために借りたお金の返済に充てる経費



### 新斎場建設 6億2688万円

30年4月の供用開始を目指し、造成工事、建築工事を進めます。



### ラグビー・サッカー場改修 1億1000万円

町民総合運動公園ラグビー・サッカー場を人工芝に改修します。



### 結婚・子育て世代支援 1122万円

結婚新生活サポート、特定不妊治療費助成、子育て世代包括支援をはじめとしたさまざまな事業を実施します。(掲載の事業・事業費は一部です)



### 学校給食センター建設 1688万円

32年の完成に向け、設計業務委託等を実施します。(写真は大浦小学校の調理室)



### 観光物産交流センター整備 詳細設計委託料 564万円

観光・物産の交流の拠点となる施設を陸中山田駅に併設します。

# 29年度の 目玉事業を ピックアップ。

29年度に実施を予定している多くの事業から、注目の事業を取り上げてお知らせします。



観光

エコツーリズム推進  
事業補助金

2000万円

**問** 内容は。28年度の実績はどうか。

**水産商工課** 28年7月に発足した山田町体験観光推進協議会に対する運営補助である。協議会の主な業務は町内の体験観光

の案内、ツアーの仲介等である。

28年度は、観光客約1500人が町内事業者によるプログラムを体験した。町民向けの講演会・ワークショップを2日間開催し、約70人の参加をいただき、町内で何ができるかを参加者と一緒考えた。



昨年開催された新巻鮭づくり体験

暮らし

空家実態調査業務委託料

2000万円

**問** 調査者と委託内容は。

**建築住宅課** コンサルタント会社に調査を委託し、空家の所有者の所在の把握や所有者の意向の確認、データベースの作成を行う。

介護

高齢者地区組織支えあい事業補助金

3000万円

**問** どのような活動をしているか。予算の内容は。

**国保介護課** 介護予防を自主的に行う団体に対して補助金を交付する。28年度は14団体に合計130万円を交付した。29年度は活動団体を20団体まで増やしたい。

活動は、体力測定やレクリエーション、作品づくりや健康相談など多岐にわたっている。既存団体を掘り起こしたり、新たに会を結成してもらったりなどして、さまざまな方法で周知を図っている。



介護予防のための体操指導

討論

《一般会計》

賛成

関 清貴議員

復興完遂に向け、  
町民の負託に応える  
予算と確信

29年度予算の歳出では、復興関連はもちろんのこと、防災・暮らしの安全安心に配慮し、コミュニティ形成、老人福祉、子育て支援、健康づくりなど重要施策が盛り込まれている。予算特別委員会での審議を通じ、復興完遂に向け、住みよい町づくりに配慮した、町民の負託に応える予算であると確信した。

佐藤町長には、町民の先頭に立ち、町民が希望を持って笑顔で暮らすことができるような町づくりを進めてもらいたい。

※反対討論なし

平成29年度各会計の予算額と採決結果

会計名	予算額	28年度予算額	増減(%)	採決結果	
一般会計	359億5197万円	420億7978万円	△14.6%	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	30億4952万円	32億6844万円	△6.7%	〃
	後期高齢者医療	1億6086万円	1億5432万円	4.2%	〃
	介護保険(事業勘定)	18億7492万円	17億9126万円	4.7%	〃
	介護保険(サービス事業勘定)	250万円	405万円	△38.3%	〃
	漁業集落排水処理事業	1億4130万円	1億4116万円	0.1%	〃
	公共下水道事業	4億2610万円	11億4178万円	△62.7%	〃
水道事業会計	収益的支出	3億6024万円	3億5607万円	1.2%	〃
	資本的支出	7億6840万円	7億6984万円	△0.2%	

※1万円未満切り捨て



菊地光明 議員  
(新 生 会)

# 歩道設置について

## 29年度事業化へ

**問** 国道45号大沢新開地区から山谷方面に向かって右側への歩道設置について、三陸国道事務所に対し要望しているとの回答を得たが、その後の経過について示せ。  
**佐藤町長** 国道45号新開地区から山谷方面については、要望を受け、28年度に事業化され調査設計を実施している。引き続き早期の整備に向けて要望を継続していく。  
**問** 早期整備の要望を続けるとのことだが、私は県道重茂半島線と同時期に完成と考えるが。  
**川守田建設課長** 29年度、三陸国道事務所の交通安全事業予定として予算計上されている。

### 土地利用計画は

#### 利用について模索中

**問** 田の浜地区の土地利用について、土地交換による土地集約、それと並行して漁協、自治会などの意見を聞きながら計画策定を進めると回答を得てから1年が経つが、その後の経過と計画策定について示せ。  
**町長** 6ヘクタールを越す広いエリアになるため、何らかの産業地としての活用を模索しているが、前浜に接するエリアになるので、漁業に影響を与えない産業であることが大前提になるとの認識でプランを練っている。現時点ではたたき台になるところまで達していないのが実情である。地元の方々からは漁業用地、家庭農園等のアイデアもいただいているので、検討材料を整えながら協議したい。

船越湾漁協から防潮堤陸側の一部を漁業用地として利用したい旨の申し出を受けており、その方向で協議を進めている。



土地利用が決まらない田の浜地区

### 陸中山田駅の再建は

#### 複合施設として整備

**問** 陸中山田駅の再建について、町の観光発信の中心と考えた場合、観光物産館やインフォメー

ションセンターを備えた観光拠点として整備する必要があると考えるが。  
**町長** 町としても質問の趣旨と同様に考えている。鉄道駅としての利便性はもちろんのこと、観光案内スペース、物産紹介スペースを併せ持った施設とするよう、関係機関と協議を重ねているところである。

#### その他の質問

- ◆ 国道45号の街灯設置計画は
- ◆ 日向脇地区、早川地区の土地利用計画は
- ◆ テニス場の全天候型への更新は



# 農業委員会法改正後の活動実績は

## 担い手への農地利用の集積・集約

**問** 農業委員会と最適化推進委員の業務の重点である農地利用の最適化推進の実績は。耕作放棄地の発生防止・解消など最適化の推進の対策は。担い手への農地利用の集積・集約の状況は。

**佐藤町長** 農地中間管理事業や利用権設定により、担い手への農地利用の集積・集約を行っている。農地利用最適化推

進委員は、地域の課題の把握、今後の地域農業についての農業者の考え方を聞いて、農地の出し手と受け手の調整を図っている。その結果、21・7ヘクタールが集積される見込みである。



尾形英明 議員  
(新生活会)



遊休農地 担い手を求めている

## 農振地域を見直して開発を

### 29年度の定期見直しで調整を図る

**問** 雇用の拡大などは工場誘致が条件の一つである。農振地域を見直して、工場地域や産業振興、居住環境の改善に充てはどうか。

**町長** 29年度農業振興地域整備計画の定期見直し等を実施する予定で作業に取り組んでいる。

農業経営に必要な農用地を確保しつつ、住宅や工場など非農業的な土地需要で農地転用を伴う農用地区域からの農地の除外については、制度の適切運用と他の土地利用計画の調整を図りながら進める。

## 査定を受けない現場の復旧は

### 被災状況を確認し町単独で復旧

**問** 台風10号で被災した被災現場が数力所見受けられない。そのような現場の復旧をどのように考えているか。

**町長** 災害復旧事業は被災

状況が採択基準に該当すると判断した箇所について申請している。国庫補助申請以外の災害対応については、町単独災害復旧や維持補修により復旧工事を進めている。

その他の質問

◆豊間根地区の排水路整備は

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。



議員 坂本 正  
( 新 生 会 )

# 草木地区道路整備 今後の対応は

## 新規築造部分は7月完成予定

**問** 東日本大震災から6年が経つが、草木地区の道路整備はまだ手付かずである。今後の対応は。

**佐藤町長** 草木地区の道路整備については、新規の築造となる三陸沿岸道路の側道から集落へ接続する130・2メートル部分は3月に工事に着手し、7月完成の予定で進めている。三陸沿岸道路の側道部分については、管理委託手続を早期に進めることで三陸国道事務所と調整している。整備に当たっては導入できる補助メニュー等を探りながら、早期に実施できるように進めていきたいと考えている。

**問** 国道から役場に向か

う道路について、震災後に札幌市のような碁盤の目状に道路整備し、町並みをつくれなかったか。

**町長** 全て町有地で何もない状況からの開発であれば碁盤の目状の整備は可能であるが、役場前の

道路や宅地整備については個人所有の宅地を再配置する事業である。極力整然とした町並みになるよう計画したが、碁盤の目状に整備することは難しい状況であるため、理解をお願いしたい。



7月完成予定の草木道路

陸中山田駅裏

かさ上げ、なぜ3メートルか

津波シミュレーションに基づく

**問** 陸中山田駅裏の土地のかさ上げは3メートルと説明を受けているが、なぜその高さなのか。

しており、駅前の盛り土の高さに合わせて駅裏も一体的に整備する計画としている。

**町長** 3メートルの盛り土は、津波シミュレーションの結果により東日本大震災クラスの津波でも浸水しない高さで設定

造成高については西側の細浦柳沢線の高さに合わせて擦り付けることなるため、西側に向かうほど小さくなる。

本設店舗移行、町の対応は

個々の事業者に応じた対応を

**問** 今の仮設店舗への移転は2回目であり、今後は本設に移行するものと思うが、町の対応は。

を受けた後、速やかに建設に着手できるよう、商工会とも連携しながら助成制度に関する説明や相談など、個々の事業者に応じた対応をしていきたいと考えている。

**町長** 本設先での再建をスムーズに進めるため、事業者が土地の引き渡し



# 住民の安心・安全を第一に

## 引き続き県に要望していく

**問** 復興事業について、北浜災害公営住宅が完成し、入居者説明会が昨年11月7日に開催された。その時に擁壁の曲がりや段差、地盤沈下、水路等の説明があったが、入居する方々から「暮らすのが不安である」との声が上がっている。町では解決に向け、県との協議をどのように進めていくか。

**佐藤町長** 町としても住民の方々の安心を確保す

ることが最も大切と考えている。以前から改修に向けて県にも出向いて協議したところであるが、その対応策、スケジュールを確認したところ、検討中とのことだった。今後もできるだけ早く改修し、住民の安心を確保してもらうよう引き続き県に要望していく。



阿部吉衛議員  
(無所属)



地盤沈下が見られた県営北浜アパート

## 今後の副町長の体制は

### 国・県と町のパイプ役

**問** 町では現在副町長2人体制となっている。鈴木副町長が町に来てもうすぐ3年目を迎えるが、鈴木副町長が抱えている課題等がたくさんあると思う。今後の副町長の体制について、町長の考えは。

**町長** 鈴木副町長の派遣は、2年前に創設された地方人材支援制度によるもので、赴任先として本町を選定していただいた。

国家公務員としての経験を生かし、これまで予算獲得や政策策定など多岐にわたり力を発揮している。集大成としての成果を期待するためにも、もう1年の延長を国に要請している。

# 飯岡地区集会施設の復旧予定は

## 30年度中の着工完成予定



議員 清貴 関  
(政和会)

**問** 山田地区の被災した集会施設の復旧予定は。

**佐藤町長** 飯岡防災センターは、敷地造成完了を待ち、30年度中の着工完成予定。北浜防災センターは、候補地等の検討を進めていく。山田漁村センターは、まちなか交流センターができたことと周辺に居住がないことから復旧しない。

**問** 今後、新たに整備される集会施設の間取り等について地元自治会などと協議する考えは。

**沼崎復興推進課長** 相談しながら進めたい。

**問** 「心の復興」に対応するための支援策は。

**町長** 被災者が安定した



30年度完成予定の飯岡地区集会施設予定地

日常生活を営むことができるよう、健康支援活動や関係機関と連携した見守り活動、コミュニティづくり支援等を推進する。

### 三陸鉄道移管後の新駅設置は

#### 将来に向けての検討課題

**問** 鉄道を生かした町づくりを進めるため、また利用され親しまれるための新駅設置の考えは。

**町長** 新駅については、可能性を否定するものではなく、将来に向けての検討課題。

**問** 利用者を増やし、住民に愛される鉄道とするため、新駅の設置は必要と考えるが。

**復興推進課長** 多額の費用が掛かることから、利用者の推移等を見て考えたい。

### 小中学校に洋式トイレの増を

#### 必要に応じて対応

**問** 町内小中学校の洋式トイレを増やす計画は。

**佐々木教育長** 洋式トイレは全ての小中学校に設置済みであり、増設の計画はないが、必要に応じて対応する。

**問** 細浦柳沢線の整備に

伴い、大浦地区等から県北バスを利用している生徒の利便性を考慮し、乗降場所について県北バスと協議してはどうか。

**教育長** 乗降場所の変更に向け、県北バスや学校等と協議している。

#### その他の質問

- ◆長崎地区に信号機、横断歩道を設置する考えは
- ◆被災事業者のうち本設希望と廃業予定の業者数は
- ◆学校給食センターの検討委員会等の発足時期は



# 人口減少対策の具体策は

## 総合的取り組みの着実な実行で

**問** 人口減少は町の存亡に関わる重大な問題である。人口減少対策についての具体的な計画は。

**佐藤町長** 人口減少問題は、町としても重要な課題と考えている。しかし、即効性のある施策はなく、各種事業を着実に実行していくことに尽きると考えている。

**問** 定住人口の増が難しい今日、交流人口の増に期待する自治体は多い。

**町長** 観光事業の推進、外国人研修生受け入れなど具体的な対策は。

**町長** 交流人口創出のため、町の自然、文化・産業の魅力を発信し、体験プログラムの開発、受け入れ態勢の整備などを進め、魅力ある地域づくりに取り組んでいる。

**問** 町外のみなし仮設住宅の入居者が帰ってきたと思う環境づくりも必要。実態は。

**町長** 町外のみなし住宅に住む方々は118世帯、町への帰還を望む方は36世帯。復興事業を推進し、帰ってこられる環境をつくりたい。

**問** 教育立町を目指してほしい。そのためには町民によく見えるガラス張りの教育行政が必要と思うが。

**佐々木教育長** 教育委員会が公平かつ公正にその機能を果たせるよう毎月

## 新しい学校のあり方検討を

### 時期を見て意見を聞きたい

委員会を開催し、情報提供を適切に行っている。

**問** 年に60人前後の出生数を考えるとき、統廃合を含め新しい学校のあり方が検討されてよいのでは。

**箱山教育次長** PTA連合会理事会で目指す子どもの姿や教育環境のあり

方を話題にしていた。子どもの精神的安定を考えながら、いずれ検討しなければならぬ課題と考えている。

**問** 高等教育機関(大学)や研究所などを誘致し、地域の教育力向上を図っては。

**教育次長** 誘致は考えていないが、お茶の水女子大学などとの連携を強化し、積極的に子ども、地域の教育に関われるようにしたい。

## 既存集落の環境整備を

### 道路パトロールで点検

**問** 復興のめどが立った現在、既存集落の環境整備に取り組む必要があるのでは。

**町長** 豊間根地区の歩道整備事業や長内橋の改修事業、その他各地区の要望に応え、町道などの補修、管理に努めている。

**問** 旧山田地区には傾斜地近くに立地している集落が多い。このままでは

復興団地との生活環境に格差が生じ、空き家集落になる心配もある。点検し、生活環境向上に努めるべきでは。

**川守田建設課長** 既存集落を中心に、月1回道路パトロールを実施し、必要があれば道路補修などの環境整備に努めている。



田村剛一議員  
(未来クラブ)



人口減少対策が望まれる当町

# 2度の台風被害 工法等に問題なかったか

## 問題はなかったものと認識



木村洋子議員  
(日本共産党)

**問** 小谷鳥漁港は23年の震災大津波で被災し、25年10月の台風26号で再び被災、昨年8月の台風でまた被災している。2度

の台風被害でなぜ壊れたのか。工法等に問題がなかったのか。昨年の台風では、南防波堤の消波ブロックの飛散で災害査定額6212万円とある。25年の台風26号の災害復旧の際に、消波ブロックの重量化をすべきとの提言が反映されなかったため被災するような事態になったのではないか。

**佐藤町長** 当漁港の災害復旧に当たっては県の立会いの下、国の災害査定において施工性や経済性を検討しながら、工法や設計数量を決定しており、工法等に問題はなかったと認識している。台風によって波浪状況が異なることから、消波ブロックを大型化しなかったことが昨年の災害の要因になったとは一概に言えない。引き続き国・県の指導を受けながら早期復旧に努める。



被災した小谷鳥漁港

### その他の質問

◆田名部から関口に抜ける道路は、津波などの緊急時に備えて除雪すべきでは  
◆除雪基準20センチ以上を10センチ以上に  
見直しては

### 空き家バンク 設置の考えは

#### 実態調査し検討していく

**問** 空き家が徐々に増加しているように見受けられる。家主の不在等で空き家になり、今後どのように管理していけばいいのかと途方に暮れる親族もいる。

**町長** 29年度に社会資本整備総合交付金により、空き家実態調査を実施する。空き家バンクの設置については、戸数や規模、権利関係を慎重に精査しながら検討していく。

町としても空き家情報を「空き家バンク」として把握し、ニーズに沿った対応をしていくべき。また、いまだに自立再建

### 学校に除雪機配備すべき

#### 維持管理難しく考えていない

**問** 学校の除雪は学校職員や雪かきボランティアが行っている場合が多いと思うが、人数も限られていることから、人力だけでは厳しい状況である。

**佐々木教育長** 積雪があった場合、学校敷地内は基本的に各学校において雪かきすることになっている。除雪機の配備は、メンテナンスなど維持管理が難しいことから

積雪が多く雪が溶けにくい地域もある。効率よく雪かきができる除雪機



# 道路改良を図るべきと思うが

## 線形見直しの検討を進める

**問** 町道白山・石峠線の白山側入り口付近は緩やかなS字カーブとなっており、特に冬場は民家の影になっていたり、路面が凍結し通行に不便を来している。現在、新たな県道の整備が進められているが、同路線は県道に接続し、今後は大型車両を含め交通量の増加が予想される。入り口を羽々の下側に移設して直線とし、車両の円滑な通行を図るべきと思うが、いかがか。

**佐藤町長** 現在整備が進められている新たな県道宮古山田線から羽々の下側に接続する町道部については、安全面から改良が必要な箇所と認識している。線形見直しの検討を進めていく。

**問** 県道の完成時期29年度に合わせて工事を進めてもらいたい。

**川守田建設課長** 線形の見直し検討を進める。関係地権者との合意が得られれば、そのように進めたい。



佐藤克典 議員  
(政和会)



改良が望まれる町道白山・石峠線

## 第3子以降に祝い金支給を

### 他の施策で支援を行う

**問** 出生率向上のため、第3子以降出産に対して祝い金を支給し、多子世帯の保護者の経済的負担軽減と本町への定住促進

を図るべきと考えるが。  
**町長** 子育て世代への経済的な負担を軽減するため、乳幼児・児童生徒等の医療費助成や保育料等

の負担軽減を実施しているところであり、現在のところ出産祝い金の支給は考えていない。  
29年度から子育て世代包括支援センターを立ち上げ、妊娠・出産・子育てのさまざまなニーズに対し、決め細やかで切れ目のない支援を行う。

### 完全給付型奨学金制度

## 33年度以降も継続すべき

### 制度のあり方等も含め検討

**問** 29年度から大学や高校などに進学する生徒への奨学金制度について、貸与型から返還不要の給付型へ移行し、進学を後押ししたいとのこと。このことは経済的理由で進学を断念せざるを得ない意欲と能力のある児童・生徒や保護者にとって喜ばしい制度と思う。

しかしながら事業対象期間が復興計画の最終年度の32年度とされており、この4年間の対象とならない児童・生徒は不公平感を抱くものと推察される。33年度以降もこの制度を継続するべきと考えるが、いかがか。  
**町長** 人材育成の観点からも、継続的に後押しすることは必要であると認識している。33年度以降については再度制度のあり方等も含め検討する。

### その他の質問

◆集会施設のトイレ改修の年次計画は

# 一部返還免除で期間延長を

## 33年度以降は再度検討



黒沢一成 議員  
(未来クラブ)

**問** 山田町育英会を32年度まで完全給付型にするようだが、予算はどこから。

また、33年度以降および現時点で貸与を受けている在学生との整合性は取れるのか。4年間の期間限定で完全給付ではなく、一部返還免除の形で対象期間を長くしたほうが良かったのでは。

**佐藤町長** 資金は、現行制度の山田町育英会および田代英雄奨学資金貸与基金が財源となる。給付型の実施は復興計画の最終年に当たる32年度までの4年間で最も必要性があると考えて実施する。

33年度以降については、再度、制度のあり方等も含めて検討する。



国体で応援する生徒たち 長続きする支援を望みたい

### その他の質問

- ◆ 仮設の道路でも歩行者に配慮した形にしては
- ◆ 浦の浜海水浴場を夏までに整備する考えは
- ◆ 降雨災害時の避難場所を住民と協議しては

### 学校統合

## 数年先を見通して方針を

### 地域と意見交換し慎重に

**問** 統廃合は地域の納得があつて進むものであるが、地域にとって学校は一つのよりどころであり、自ら積極的な意見は出しにくい。

一方、少人数での教育環境を心配する声もある。今後少子化は進む

が、数年先を見通してある程度の考えは持つておくべきでは。

**町長** 保護者や地域住民と意見交換する機会を持ち、慎重に検討していく。今後の児童数の見込み等も示していきたい。

### バス路線

## 山田病院経由を便利に

### 4月のダイヤ改正で協議

**問** 浦の浜地区の防潮堤・道路工事の進捗に伴いバス路線も切り替えが必要では。これに伴い山田病院経由バスの利便性を上げよ。

山田病院経由に関して、は昨年9月の開院以来、町、県医療局、県北バスの三者で協議を行っており、船越方面は1日往復2便を確保している。

**町長** 復興工事により道路の切り回しが頻繁に行われており、利用者には不便を掛けている。復興事業完了時には利便性が高くなるので、もうしばらく協力してほしい。

4月には山田駅前ロータリーにバス停を開設するなどダイヤ改正が予定されているので、その中で病院への乗り入れを増やすことで協議を進めている。



# 早急なコミュニティ構築に協力を

## まずは交流会を開催する

**問** 災害公営住宅への移

転が増えているが、マンション形式の住居は山田町になじみがなく、コミュニティ形成に問題が生じている。自治組織がないことを住民の方々も気にしている。

**答** 住民自らの活動が必要という役場の姿勢は理解できるが、きつかけづくりがなければ動きづらいのが事実。今後の対応は。

**問** のとおりである。社協な

どと協力し、まずは住民交流会を実施予定。

**答** 3月5日現在、まだ交流会の日程が決まっていないようだが、28年度中の開催は可能か。

**問** たい。

次に中央団地の集会所に関して、自治組織ができるまでの鍵の管理はどうするのか。

**答** 佐々木建築住宅課長 町建築住宅課で管理予定。役場は中央団地入居者にとつて遠すぎる。特に集会所の利用は高齢者が多く、鍵を借りるために往復するのは大変。せつかく近くにまちなか交流センターがあるので、そこで管理しては。

**問** まちなか

交流センターでの管理については検討したい。

**答** 集会所にはまだ備品も入っていないが、いつころまでに整備予定か。机も何もないのでは利用もできない。

**問** 現在入札

等を行っている。3月中には設置される予定。

**答** 現在入札等を行っている。3月中には設置される予定。

# 山田のご当地グルメを開発しては

## 一過性のものにしらない体制づくりが重要

**問** 本町の売りは海産物・農産物だが、最近

他地域との競争が激しい。カキ小屋も本町の売りだったが、最近では沿岸のみならず都市部にもある。観光を盛り上げるために、山田ならではのメニューを開発してはどうか。

全てを役場がやるのは不可能なので、メニュー募集等のきつかけづくりと、審査する体制づくりの後押しができないか。

**町長** 一過性のものにしないうちに継続したPRが必要。実施の可能性や手法について検討する。



議員 田老賢也  
(無所属)



3月末に開催された中央団地住民顔合わせ

# 31年度以降の財政運営は

## 財政計画に基づき的確に運営



阿部 幸一 議員  
( 新 生 会 )

**問** 31年度以降の財政運営についてどのように対応するのか。また、町債はいくらになるのか。

**佐藤町長** 東日本大震災以降、本町では復興事業により数百億円規模の大型予算が続いており、ここ数年はこの傾向が続くものと考えられる。

今後は事業の進行に伴い、予算規模は徐々に縮小すると考えられる。復興計画の最終年となる32年度前後には震災前の予算・決算の規模に落ち着いていくと思われる。これからも中期財政計画を毎年見直しながら、的確な財政運営に努めていく。

町債の残高については、震災以前から借り入

### 災害危険区域の活用計画は

#### 要望等を基に検討を進める

**問** 災害危険区域に指定した場所について、芝張り等をして緑地広場やマレットゴルフ場などとして活用する計画はないか。

**町長** 災害危険区域に指定した土地については、まずは産業地としての可能性を検討しているが、

それが難しい土地に関しては、地域住民の憩いや活動の場として広く活用方法を検討する必要があると認識している。

地域からの要望や意見などをいただきながら財源の確保や整備手法の検討を進めていく。



利用計画が求められる災害危険区域（織笠地区）

### 奨学金 人材不足の分野への活用は

#### 各分野における活躍を期待

**問** 町の奨学金制度を見直し、完全給付型へ制度改正をした。復興計画の最終年度に当たる32年度までの期間限定で返還不要の給付型とし、意欲と能力のある子どもたちの進学を強力にサポートし、町の復興を見据え、

人材不足となっている分野に対してこの制度を活用するなど、町も何か考えて行動してほしいと思うがどうか。

**町長** この制度を活用した若者たちが各分野において活躍することを期待している。



# 活動報告

このページでは、議会の活動内容や委員会での検討事項など、さまざまな事柄を取り上げてお伝えします。

## 東部町村議会議長会議員研修会

# タブレット端末で議会の活性化を

2月9日、龍泉洞温泉ホテル（岩泉町）において山田町議会、大槌町議会、岩泉町議会、田野畑

村議会、普代村議会で構成される東部町村議会議長会（会長 加藤久民岩 泉町議会議長）の議員研

修会が開催され、当町から議員8人と事務局が参加しました。

研修会では、講師にN T T東日本岩手法人営業部と富士ソフト株式会社を迎え、タブレット端末による町村議会の活性化というテーマで行われました。

国会および全国の自治体議会におけるタブレット端末の導入事例や活用方法について研修し、ペーパーレス会議による紙資源の節約、コスト削減、そして議会運営の効率化と質の向上について学んできました。



ペーパーレス会議は実現なるか



議会ホームページ



定例会ポスター

## 議会改革検討特別委員会

# 3月定例会を傍聴いただけましたか

前号（154号）の議会だよりでお知らせしましたが、定例会の日程と内容を町民の皆さまにお伝えするため、3月定例会からポスターの掲示やホームページへの掲載の取り組みを始めました。ポスターについては、各地区の掲示板や役場および中央公民館等の建物に掲示しました。町のホームページから議会のページに行きますと、定例会の日程と内容が分かるコンテンツを設けました。今後も継続していきま

6月定例会は6月12日に開会予定です。お気軽にお越しください。

町民の皆さまからの町への提言、  
思いなどを紹介します。  
今回は表紙(1ページ)に登場いた  
いた家族にお話を聞きました。



船越在住の佐々木さん家族

左から

- 凜斗(りんど)くん (6歳・長男)
- 学(まなぶ)さん (35歳)
- らいちゃん (7歳・長女)
- 藍子(あいこ)さん (33歳)
- 吹(すい)くん (3歳・次男)

子どもが伸び伸びと  
遊べる町に!

——山田町の好きなところ

学 自然豊かなところ。  
思い出の場所は沢山の弁  
天様です。子どもの時は  
よく遊びに行っていたの  
で、楽しかった記憶がよ  
みがえってきます。

——山田町に期待するこ

とは  
藍子 子どもたちが伸び  
伸びと成長できる環境づ

くりです。子どもたちの  
遊べる場所が増えるとう  
れしい。震災で遊べる場  
所が減ったし、まだ校庭  
を十分に使えない学校も  
ある。道路の近くは大型  
車の交通量が多くて不  
安。安心しておもいつき  
り遊べる場所が欲しいで  
すね。

長男の凜斗くんはこの  
春、船越小学校に入学し  
ました。長女のらいちゃ  
んと一緒に小学校でも元  
気に楽しく過ごしてね!

表紙の写真を募集します!  
あなたの写真で議会だよりを飾りませんか?

山田町議会では、町民の皆さまに親しんでいた  
ける紙面づくりを目指し、議会だよりの表紙に掲載  
する写真を募集します。

◆募集写真のテーマ

子どもや家族の笑顔、地域等での行事、町内の好  
きな風景など

◆写真の規格

カラーの縦写真(合成、組写真不可)で、撮影者  
自身に著作権があり、未発表のもの。Jpeg形式  
で、サイズが2~4メガバイト程度のもの。

◆応募方法

必要事項(氏名、住所、電話番号、撮影年月、撮  
影場所、写真の説明など)を記入した応募用紙(※)  
と応募写真を添付したメールを送っていただくか、  
CD、DVDに保存して山田町議会事務局まで持参  
または郵送してください。

メール宛先: [gikaijimu@town.yamada.iwate.jp](mailto:gikaijimu@town.yamada.iwate.jp)

送付先住所: 〒028-1392 山田町八幡町3番20号  
山田町議会事務局

◆締切

第156号掲載分は6月20日(火)とします。  
その後も随時募集します。(複数応募可)

◆注意事項

被写体の人物、対象物が特定できる場合は、本人(中  
学生以下の場合は保護者)や対象物の所有者から承諾  
を得てください。法律上の問題が生じた場合、当議会  
は一切責任を負いかねます。応募写真の著作権は当議  
会に帰属します。

表紙写真に採用された場合、応募者の氏名、住所を  
掲載します。掲載を希望しない場合は、その旨を明記  
してください。

選考は議会広報編集特別委員会が行い、結果の通知  
は行いません。また、応募作品は返却いたしません。

その他、詳細事項は町ホームページに掲載していま  
すのでごらんください。

◆ホームページURL

<http://www.town.yamada.iwate.jp/12.gikai/>  
(※応募用紙も町ホームページに掲載しています。)

あ  
と  
が  
き

▼3月定例会は2月13日か  
ら3月10日まで開催されま  
した。29年度からは復興完  
遂に向けた再生期の最終年  
が始まります。最近、町中  
心部に入ると、新たな道がで  
きていたり、この前まで通れ  
た道が無くなっていたりと、  
その都度困惑される方も多  
いと思います。しかし、これ  
は日々復興が進んでいる証  
です。そして、さらに住宅再  
建や災害公営住宅等への転  
居に伴い、新たなコミュニ  
ティの構築が必要となりま  
す。▼時に荒れることもあ  
りますが、山田の穏やかで青  
い海のような心で過ごして  
いきたいものです。町民の  
皆さんが心の底から笑える  
ように“海と共に暮らし、勇  
気と希望を持って”みんなの  
力で町に活力を。(吉川)

◆発行責任者

- |             |    |   |
|-------------|----|---|
| 議長          | 長  | 昆 |
| 議会広報編集特別委員会 |    |   |
| 委員長         | 吉  | 川 |
| 副委員長        | 菊  | 地 |
| 委員          | 佐藤 | 光 |
| 委員          | 木村 | 賢 |
| 委員          | 田村 | 克 |
| 委員          | 野  | 典 |
| 委員          | 貴  | 子 |
| 委員          | 清  | 洋 |
| 委員          | 貴  | 子 |